



### ジュネーブ

#### ISO 55001で新たな高みへ

インフラストラクチャーのパフォーマンスを改善するために、長く集中した努力の末、ジュネーブ国際空港はISO 55001認証の取得に至り、支出の合理化、信用の強化を実現し、施設の将来を証明した。そのジュネーブ空港チームに詳細をたずねた。

アセットマネジメントは、時間や資金、幹部の悩みの種を削減する企業の強力な武器になりうる。ISO 55001を使用することで、ジュネーブ国際空港はアセットマネジメントのモデルを展開し、現在、新たな高みへと到達しようとしている。ジュネーブ国際空港はヨーロッパ大陸の空港で初めて、スイスの企業で2番目にISO55001認証を取得した。

ほぼすべての組織がアセットによってもっと多くのことを達成しなければならないと考えている。すなわち、ダウンタイムや生産低下を最小限に抑えるだけでなく、付加価値を提供するために資金を有効に使うということだ。アセットマネジメントシステムがもたらす具体的な結果として、日常的な活動の管理や事業効率の改善、リスクに関連するコストの削減、規制産業における規制の順守、故障率の削減などがあげられる。

Genève Aéroportの名のもとで運営されているジュネーブ国際空港は、ISO 55001を、より多く乗客を運びながら利益と安全性を維持する空港の信頼性を証明するものとする航空会社間での信用を強化した。これにより、航空会社が新しい航路を開く際に、競合する他の空港と比べて有利になる。『ISOfocus』のインタビューで、ISO 55001プロジェクトを担当するジュネーブ国際空港チームは、認証取得過程での発見や、空港が未来の空の交通需要にこたえる準備ができたことを話している。

**ISOfocus : Genève Aéroportは技術的なアセットやインフラの質の高いマネジメントに対して ISO 55001認証を取得しました。これは何を意味しているのでしょうか。**

認証の取得は、ISO 55001に基づくアセットマネジメントの要求事項を導入することの最終的な目的ではありませんでした。Genève Aéroportの取り組みは、アセットマネジメントの業務、方法、プロセスの改善を中心とするものでした。到達した成熟度が、認証取得レベルに達しているとわかってはじめて、空港は認証の取得へと動き出しました。認証は、達成した成長に対する報酬であり、プロセス開始以来、私たちが行ってきた活動やプロジェクトの妥当性を裏付けるものでした。また、空港のすべてのスタッフがGenève Aéroport憲章、ステークホルダーの期待、空港の活動を取り締まる規則に基づいて、空港のアセットをしっかりと管理するために毎日行ってきた取り組みに対する称賛でもあります。

**ISO 55001に関心を持った理由は何ですか。**

私たちはISO 55001が登場するずっと前からアセットマネジメントに関心を持っていました。この分野への取り組みはPAS 55から始まりました。これは、構造化された枠組みと継続的改善のモデルを通じて物的アセットの管理を最適化する、適用可能な実践内容を提供してくれました。ISOの英国会員であるBSIが2004年に作成したこの公開仕様書は、ISOによって作成された国際規格ISO 55000シリーズの基礎となりました。

2014年に登場したISO 55001は、物的、非物的なあらゆるタイプのアセットに対して幅広く適用可能とされ、『ISO』という国際的なブランドを約束してくれるものだったため、私たちの注目をひきました。新しい基準への移行は論理的には継続でした。2つの基準の間には一貫性があり（PAS 55はISO 55001の開発の基礎となる文書として使われ、多くの概念はISO規格の要求事項に含まれている）、簡単に切り替えることができたので、移行は当然のことでした。

**あなたの考えでは、規格のメリットとは何だと思えますか。**

Genève Aéroportにおけるアセットマネジメント活動の一番のゴールは、施設の持続可能性を今後数十年間保証してくれるように、構造的な枠組みの中で既存の業務を改善することにあります。ISO 55001なら、コスト、運営、規制要件のニーズや制約に対応しながら、この

目標を達成することができます。空港と航空活動は、特にセキュリティや安全性に関するリスクの複雑さや広がりについて、独自の課題があります。

従来、決定とはコストとパフォーマンスとの間の妥協点を意味していましたが、よりバランスのとれた業績評価を行うためにリスクを統合する方が、私たちの状況や活動には適しています。規格の機能横断的な面やその他の要求事項に加え、上記の要素によってトップマネジメントから現場レベルの業務遂行まで活動の正当性を強化することができます。

**技術的なアセットとインフラのマネジメントに何が含まれるのか説明してもらえますか。**

Genève Aéroportはジュネーブを世界とつなぐ主要インフラであり、管轄区域の経済、社会、文化の発展に貢献する必要があります。地域の成長は空港にとってチャンスとなります。空港はジュネーブの都市近くに位置し、地域の国際的な注目度に大きく貢献してきました。同時に、運営の柔軟性を制限する空間的、制度的な制約に満ちた特殊な状況において、インフラやアセットにより幅広いサービスを提供しています。

需要の拡大（2030年までに2500万人の乗客が見込まれている）、より厳しい品質基準や要件、リスク軽減の発達により、将来こうした課題はさらに深刻になるでしょう。この状況で、空港の管理者、特にアセットマネージャーは、適用可能な基準を守り、適切な財務管理を確保しながらインフラとアセットの短期および長期的ニーズの両方を満たす、賢く、革新的で最適なソリューションを常に探しつづける必要があります。

**この規格によって可能になった成果または改善の具体的な例を挙げていただけますか。**

ISO 55001は比較的新しいものです。そのため、私たちは2012年にこの分野での取り組みを始めましたが、2014年まで新しい規格への移行は行っていませんでした。それにもかかわらず、私たちはすでに顕著な改善を感じています。まず第一に、アセットの知識について、私たちは現在、管理下にあるアセットをすべて特定できる構造化されたアセット台帳を持っています。この最初のステップの後に、アセットの統合的な参照計画が作成されます。

ISO 55001に基づく私たちのアセットマネジメントの実施戦略は、プロセスと方法論に焦点を当てています。これにより、ライフサイクルの各ステージでトレードオフを考慮し、意思決定プロセスを改善することができます。重要度分析では、最も重要なアセットシステ

ムを特定できており、それをもとに適切なマネジメント計画を立てようとしているところで  
す。例として、手荷物処理システムが、運営および財務パフォーマンスの点から検証されま  
した。

主要プロジェクトの一環として、ライフサイクルコスト計算（LCC）により、航空運賃に対  
するインフラコストの影響が特定でき、それをもとに、より高度な財務収益性分析が可能に  
なっています。運営面では、システムパフォーマンスのモニタリングの方法を改善するプロ  
グラムを実行中です。同様に、格納式搭乗ブリッジと凍結防止システムの運用上の使用可能  
性を分析することで、関連するサービスレベルを把握する方法の改善に役立ち、より正確に  
メンテナンス計画を採用し、最適化することができています。

様々な機能、専門分野の内部、外部スタッフの協力により、前述のメリットを得ることがで  
きました。シナジーと共通の利益を見つけ、特定のテーマごとに作業グループを作ることで  
、今後の作業は部門横断的な連携を間違いなく強化してくれるでしょう。

### **近い将来、どの重要な分野に取り組む予定ですか。**

アセットマネジメントシステム改善の取り組みは2016年半ばに、ISO 55001の「最初の」認  
証取得という形で報われました。これは最初のステップで、実施計画や開発計画によって裏  
付けられた企業の能力が評価されたものです。Genève Aéroportの成熟度レベルの次のステッ  
プは、まず監査結果に基づいた改善計画を実施し、次に、2017から2018年のアセットマネ  
ジメント計画を採用、実施することです。

同時に、アセットマネジメントシステムをさらに企業全体の運営に統合するために、方法や  
プロセスを調整していきます。現在そして未来の発展に重要となるのは、アセット台帳をア  
セットの費用と連動するように拡張すること、アセットの参照計画の作成、パフォーマンス  
指標の改善、メンテナンスコストの最適化、空港計画の統合、投資の優先付けなどです。

**ISO 55001を利用することで空港はどのようにしてメリットを得られますか。まだ利用していない空港へどのようなアドバイスがありますか。**

空港とは、多様な事業活動とシステムで構成される複雑な環境で運営され、リスク軽減の厳しい要件にさらされる、高い資産価値を持つ企業です。厳しくときに制約的な国際法令を守り、コストを最適化しながら品質基準が求める最高レベルを維持するという高まるニーズを満たす必要があります。

空港の活動はインフラとアセットの状態に大きく依存するため、特に重要なアセットの異常や劣化は運営の円滑さや継続にとって潜在的なリスクとなります。これは運営停止につながることすらあり、「乗客の体験」や空港全体のイメージにネガティブまたは悲惨な影響をもたらすこともあります。

ISO 55001に準拠したアセットマネジメントシステムを構築することで、不確実性や不測の事態を削減することができます。というのは、その規格がアセットマネジメント計画の実施とモニタリングを要求しているためです。このアセットマネジメントシステムは、アセットの十分な知識（と現在や将来的な状態）およびリスク/コスト/パフォーマンスのバランスの統合に基づく企業の活動や戦略的な目標と整合していなければなりません。すでに一部の空港では問題に対応するため同様のアプローチを導入しています。ISO 55001の使用を検討しているもののまだ取り組みを始めていない空港もあります。とは言っても、ヨーロッパの空港は間違いなく認証に関心を持っており、Genève Aéroportはすでに、規格の導入過程について知りたがっている空港の複数の専門家から訪問を受けています。

Genève Aéroportはジュネーブを世界とつなぐ主要インフラである。

Genève Aéroportは2030年までに2500万人の乗客を見込んでいる。

空港は複雑な環境で運営される高い資産価値を持つ企業である。

これは[英語の原典](#)を和訳したものです。図や写真などは原点をご覧ください